

## 外 国 語

### 1 教育課程研究協議会の経過（平成11年度～平成14年度）

高等学校学習指導要領の改訂に伴い、北海道教育委員会は、高等学校における教育課程の編成・実施に資するため、平成11年度から毎年、「高等学校新教育課程編成の手引」を作成するとともに、教育課程研究協議会を開催し、説明や研究協議を通じて、学習指導要領改訂の趣旨の徹底や内容の理解を図るよう努めてきたところである。

平成11年度からの手引の概要及び説明の概要は次のとおりである。

	手引の概要	説明及び協議の概要
平成 11 年 度	1 科目編成 2 改訂の基本方針 3 改訂の内容 (1) 目標 (2) 各科目 (3) 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 4 質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧学習指導要領における外国語科の科目の違いについて</li> <li>・改訂に当たっての三つの基本方針について</li> <li>・外国語科の目標の三つの要素について</li> <li>・各科目の目標と内容について</li> <li>・指導計画の作成に当たっての配慮事項について</li> </ul>
12 年 度	1 全般的事項 2 各科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の学習指導要領との関連について</li> <li>・履修に当たっての配慮事項について</li> <li>・言語活動の取扱いの配慮事項について</li> <li>・英語Ⅰ及び英語Ⅱの改訂のポイントについて</li> <li>・オーラル・コミュニケーションⅠと英語Ⅰの違いについて</li> </ul>
13 年 度	1 外国語科の教育課程の編成 2 指導計画と内容の取扱い 3 指導計画の作成 4 質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領改訂の基本方針について</li> <li>・外国語科の目標と科目編成等について</li> <li>・教育課程編成上の配慮事項について</li> <li>・コミュニケーション活動について</li> <li>・指導計画作成上の具体的な配慮事項について</li> </ul>
14 年 度	1 外国語科の学習指導の改善 2 評価の工夫 3 学習指導案の作成 4 質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導の改善の視点について</li> <li>・外国語科の効果的な学習指導について</li> <li>・評価の基本的な考え方について</li> <li>・評価の工夫や具体的な評価方法の事例について</li> <li>・評価の工夫改善に当たっての留意事項について</li> <li>・学習指導案作成上の具体的な配慮事項について</li> </ul>

## 2 学習指導の改善・充実

### (1) 個に応じた指導の工夫

#### ア 教材の取扱いについて

- 多様化する高等学校の生徒の興味・関心等に応じて適切な題材を変化をもたせて取り上げる必要がある。

#### イ 指導方法の工夫・改善について

- ペア・ワークやグループ・ワークを適宜取り入れ、生徒一人一人が実際に英語を使用する機会を多くしたり、複数の日本人教師によるチーム・ティーチングを取り入れ、よりきめ細かな指導を行ったりするなどの工夫が必要である。
- 視聴覚教材などを活用して現実感や臨場感を与えたり、コンピュータやLISなどを利用して、生徒の能力・適性や興味・関心に応じた個別学習の機会を拡大したり、情報ネットワークを有効に活用して発展的なコミュニケーションを実際に体験させたりするなど、様々な指導方法や指導体制を工夫することが大切である。

<英語 I におけるペア・ワークやグループ・ワークを積極的に取り入れた授業の例>

PROCEDURE	TIME (m.)	ACTIVITIES			NOTES
		JTE	ALT	STUDENT(S)	
Warm-up Speaking Activity 1	10	Short conversation with ALT about their favorite foods. Walk around & listen.	Talk with JTE.  Walk around & listen. Ask about foods in Japan.	Listen.  Name as many foods as possible. Answer.	Pair-work Q&A
New words & Expressions  Reading Comprehension	13	Show flashcards on new words.  Ask Ss to read the textbook.	Explain meaning & usage.  Check pronunciation.  Ask questions.	Listen.  Repeat after the ALT.  Read the textbook silently. Answer questions.	Q&A
New Grammar Speaking Activity 2  Grammar game	14	Short conversation using the SVOC sentence pattern. Explain the form briefly.  Ask some Ss to report the result of the game.	Talk with JTE using the SVOC sentence pattern.  Explain the game.	Walk around & play the game. Report.	Worksheet  Whole class Activity
Consolidation Speaking Activity 3	13	Short conversation about various foods with ALT. Ask some Ss to report on their discussion.	Talk with JTE.  Join each group.	Listen.  Discuss in groups their favorite foods Report.	Group work

ここでは、生徒一人一人の個性やよさを生かすために、ペア・ワークやグループ・ワークの活動において、「交互に話し手や聞き手として、対話が続くように協力しあうこと」に留意して指導することが効果的である。

(2) 指導と評価の工夫・改善

平成14年度の「高等学校新教育課程編成の手引」において、評価規準の設定の必要性や評価方法の工夫について説明してきた。ここではより具体的な評価規準の例をもとに、指導と評価の工夫・改善について説明する。

① オーラル・コミュニケーション I (OCI) における評価規準の作成の例

科目の目標である「日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。」ことを踏まえ、内容のまとまりごとの評価規準を作成する。

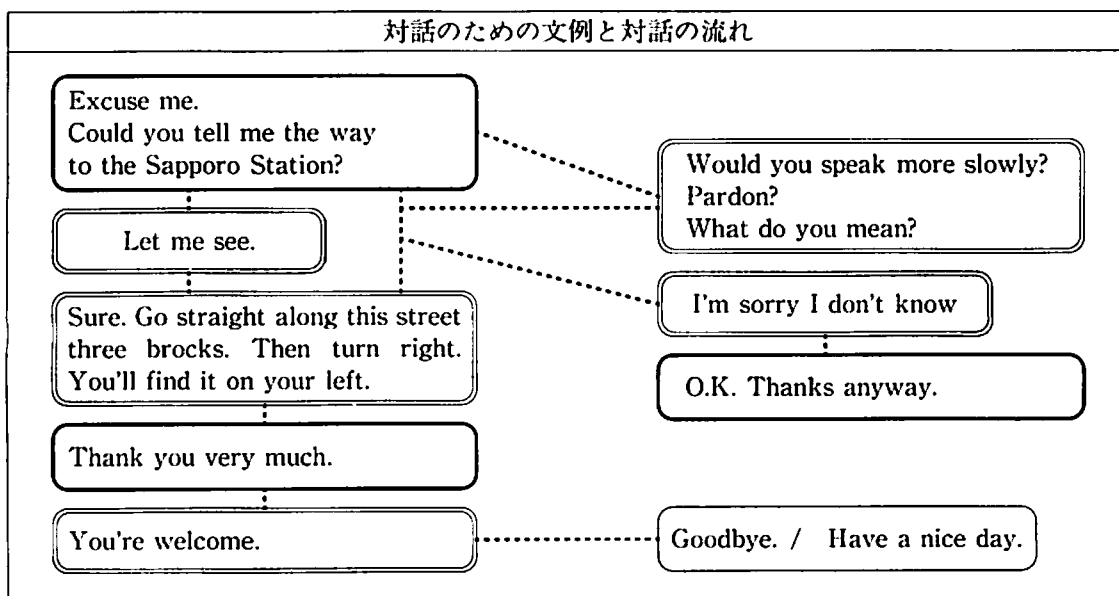
OCIにおける学習指導要領の言語活動に示されているコミュニケーション活動を内容のまとまりとして、「聞くこと」「対話すること」「話すこと」「口頭で発表すること」の4つの内容ごとに評価規準を作成することになるが、ここでは「対話すること」についての評価規準の具体例を示す。

② 外国語科の目標の三つの要素と4つの評価の観点及び「対話すること」の評価規準の具体例

観点	(1) 関心・意欲・態度	実践的コミュニケーション能力		(4) 知識・理解
		(2) 表現の能力	(3) 理解の能力	
評価の観点の趣旨	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうとする。	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
OCIにおける「対話すること」の評価規準の具体例	<p>(言語活動への取組)</p> <p>ア 間違ふことを恐れずに関心のあることについて相手に質問している。</p> <p>イ 自ら学んだ表現などを使って話している。</p> <p>ウ 相づちを打つなど、相手の話に関心をもって聞いている。</p> <p>エ 相手の質問に積極的に答えようとしている。</p> <p>オ ペア・ワークなどにおいて積極的に協力しあっている。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>カ うまく言えないことがあっても別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。</p> <p>キ つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。</p> <p>ク 交互に話し手や聞き手として、対話が続くように協力しあっている。</p>	<p>(正確な対話)</p> <p>ア 正しいリズムやイントネーションなどを用いて対話することができる。</p> <p>イ 文法に従って話すことができる。</p> <p>ウ 話そうとすることを相手に正確に伝えることができる。</p> <p>(適切な対話)</p> <p>エ 適切な話題を選んで対話することができる。</p> <p>オ 話題や相手によって語句や表現を選んで対話を始め、継続し、終わらせることができる。</p> <p>カ 適切な速さや声の大きさで対話することができる。</p> <p>キ 相手の理解を確認し、それに応じて話すことができる。</p>	<p>(正確な対話)</p> <p>ア 強勢やイントネーションなどから話し手の意図などを正しく理解することができる。</p> <p>イ 相手の話の内容を正しく聞き取ることができる。</p> <p>(適切な対話)</p> <p>ウ 自然な口調で話された内容を聞き取ることができる。</p> <p>エ 聞かれたことに対して素早く適切に応じることができる。</p>	<p>(言語についての知識)</p> <p>ア 連音や音変化などを聞き分ける知識がある。</p> <p>イ 場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</p> <p>ウ 場面や状況に応じた表現を知っている。</p> <p>エ 「対話すること」に用いられる語句や文法を知っている。</p> <p>(文化についての理解)</p> <p>オ ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。</p> <p>カ 日常生活の身近な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。</p>

③ 「対話すること」の言語活動の例と評価規準の関連

本時の活動内容「目的地への行き方を尋ねる・教える」



上記は「対話すること」の言語活動の例であるが、この言語活動をペア・ワーク等によって行う場合、前頁に示した「対話すること」の評価規準の具体例のうち、主に次の評価規準について評価することができる。

評価の 観点	(1) 関心・意欲・態度						(2) 表現の能力						(3) 理解の能力				(4) 知識・理解									
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	
評価規 準の具 体例																										
本時 にお ける 主な 評価 規準		○		○	○	○			○	○	○			○	○		○	○							○	

(評価規準の具体例の欄の記号は、前頁に示した②のOCIにおける「対話すること」の評価規準の具体例の記号に対応している。)

④ 評価の方法

上記の言語活動においては、主にチェックリストを活用した教師の「観察法」や「録画チェック」等による評価のほか、生徒の「自己評価」や生徒同士による「相互評価」等を加味して評価することが考えられる。この場合、1単位時間において、4つの評価の観点すべてについて評価することは容易でないため、1、2の評価の観点に絞って評価を行うことも考えられる。

また、「対話すること」の言語活動に対する学習意欲を高めるためには、ペーパーテストにおいて、地図などを示しながら目的地までの行き方を英文で記述させるなどの出題をすることも効果的である。

(3) シラバスの活用

シラバスを作成して、授業のねらいや学習内容、評価の観点等を生徒や保護者に公表することにより、授業改善の視点の明確化を図ることが大切である。

「オーラル・コミュニケーションⅠ」のシラバス (例)

教科名	外国語		科目名	オーラル・コミュニケーションⅠ	
科目の目標	日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
履修学年	1学年	学科・コース	〇〇〇		
単位数	2単位	授業形態	一斉授業		
教科書	〇〇〇	副教材等	〇〇〇		
1 学習の目標	本校の英語学習の基礎です。次のような力を身に付けましょう。				
	(1) コミュニケーションに関心を持ち、積極的に英語を使おうという態度を身に付けます。 (2) 日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり発表したりして表現する力を身に付けます。 (3) 日常的な身近な話題について、易しい英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する力を身に付けます。 (4) 日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言葉やその使い方についての知識を身に付けたり、その背景にある文化を理解します。				
2 学習内容と進め方	学習の目標にある力を身に付けるため、授業では、次のような学習を行います。				
	(1) 英語を聞いてその内容を理解したり、場面や目的に応じて正しく反応するための学習を行います。 (2) 関心のあることについて、相手に質問したり、相手の質問に答えたりする学習を行います。 (3) 情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝える学習を行います。 (4) 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表したり、発表されたものを理解する学習を行います。				
3 学習の留意点	授業の際には、次の点に気をつけて学習しましょう。				
	(1) リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴に注意しましょう。 (2) コミュニケーション活動に必要な基本的な文系や文法事項を理解して実際に活用しましょう。 (3) 繰り返しを求めたり、言い換えをするときなど必要となる表現を活用しましょう。 (4) ジェスチャーなどの非言語的手段の役割を理解し、場面や目的に応じて効果的に使ってみましょう。 (5) ペア・ワークやグループ・ワークなど、いろいろな学習形態がありますが、仲間と協力して積極的に活動しましょう。				
4 評価の方法	定期考査だけではなく、毎時間、評価を行います。日ごろの積み重ねが大切です。				
	(1) 「英語を積極的に使おうとしたか」などの【関心・意欲・態度】、「情報や自分の考えを英語で伝えることができたか」などの【表現の能力】、「情報や人の考えを理解できたか」などの【理解の能力】、「言葉の仕組みを理解し、語彙が身に付いたか」などの【知識・理解】の4つの観点で評価します。 (2) 活動の観察、定期考査、小テスト、面接（インタビュー）テスト、発表などの様々な方法で、総合的に評価します。				
5 授業計画					
月	単元	具体的な学習内容	評価の観点	考査等	
4	オリエンテーション	・英語学習の意義やOCIの学習の進め方について理解します。 ・クラスルームイングリッシュの確認をします。			
	I 出会うの季節	・英語で挨拶ができるようになります。 ・英語で自己紹介ができるようになります。 ・相手の出身地などを尋ねることができるようにします。 ・身近な英語の表現を使えるようになります。 ・語彙を豊かにします。 ・新しく覚えた表現で積極的に会話をを行います。	【関心・意欲・態度】 ・英語を使ったコミュニケーションに関心を持ち、意欲的に参加することができるか。 【表現の能力】 ・挨拶や自己紹介を英語で行う（表現する）ことができるか。 【理解の能力】 ・相手の出身地などを尋ねた時の返答を理解できるか。 【知識・理解】 ・自己紹介等に必要な文法事項、語彙等を理解できるか。	ペア・ワークの様子を観察します。  A L Tへ質問の様子を観察します。  小テストを行います。	
5	(1) 挨拶 (2) 自己紹介 (3) 相手のことを尋ねる			前期中間考査範囲	

6	<p>2 私の1日</p> <p>(1) 朝起きてから学校に行くまで</p> <p>(2) 学校での授業</p> <p>(3) 昼休み</p> <p>(4) 放課後</p> <p>(5) 家に帰ってから寝るまで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の自分の行動を説明できるようにします。</li> <li>・好きな科目、苦手な科目、得意なことなどを説明できるようにします。</li> <li>・家族のことを説明できるようにします。</li> <li>・自分の生活の様子についてALTと対話できるようにします。</li> <li>・学校生活についてスピーチできるようにします。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベア・ワークやインタビューゲーム、ALTとの対話に積極的に参加できるか。</li> </ul> <p>【表現の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができるか。</li> </ul> <p>【理解の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチなどを聞いて内容を正確に理解することができるか。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを説明するために必要な文法事項や語彙、文化的な背景などを理解できるか。</li> </ul>	<p>ベア・ワークやインタビューゲームの様子を観察します。</p> <p>ALTとの対話の様子を観察します。</p> <p>スピーチのテストを行います。 (相互評価)</p>	前期 中間 考査 範囲
7	<p>3 道をたずねる</p> <p>(1) 目的地までの行き方</p> <p>(2) 道を教える</p> <p>(3) わからないときの答え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路上で目的地への行き方を尋ねることができるようにします。</li> <li>・尋ねられたときに、目的地への行き方を教えることができるようにします。</li> <li>・答え方がわからないときになどに、適切な対応ができるようにします。</li> <li>・スキットを作り、発表できるようにします。</li> <li>・必要に応じて、筆談や手振りなどを使ってコミュニケーションできるようにします。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベア・ワークやALTとの対話などに積極的に参加できるか。</li> <li>・身振りを交えるなど臨機応変に対応することができるか。</li> </ul> <p>【表現の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができるか。</li> <li>・スキットを作り、発表することができるか。</li> </ul> <p>【理解の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の説明を聞いて内容を正確に理解することができるか。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道を教えるために、必要な文法事項や語彙などを理解できるか。</li> </ul>	<p>ベア・ワークの様子を観察します。</p> <p>ALTとの対話の様子を観察します。</p> <p>スキットの発表を評価します。</p>	前期 中間 考査 範囲
8	<p>4 食べ物</p> <p>(1) 味と好み</p> <p>(2) レストランで</p> <p>(3) 食事のマナー</p> <p>(4) 世界の料理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな食べ物について、説明できるようにします。</li> <li>・レストランやファストフード店での注文の仕方を理解します。</li> <li>・インターネット等で世界の料理について調べることができるようにします。</li> <li>・レシピを作れるようにします。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベア・ワークやALTとの対話などに積極的に参加できるか。</li> </ul> <p>【表現の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができるか。</li> <li>・レシピについての発表することができるか。</li> </ul> <p>【理解の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の説明を聞いて内容を正確に理解することができるか。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や料理について説明するために、必要な文法事項や語彙などを理解できるか。</li> </ul>	<p>ベア・ワークの様子を観察します。</p> <p>ALTとの対話の様子を観察します。</p> <p>レシピの発表を評価します。</p>	前期 中間 考査 範囲
10	<p>5 学校祭に向けて</p> <p>(1) 話し合いをする</p> <p>(2) 意見を言う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成、反対の表現を言えるようにします。</li> <li>・話し合いの仕方を理解し、賛成意見、反対意見を言えるようにします。</li> <li>・人の意見に耳を傾け、自分の考えを言えるようにします。</li> <li>・ディベートの仕方を理解します。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって自分の意見を発表することはできるか。</li> </ul> <p>【表現の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のある意見を言うことができるか。</li> </ul> <p>【理解の能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見を理解できるか。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況に応じた表現を知っているか。</li> </ul>	<p>ベア・ワークの様子を観察します。</p> <p>ディベートの様子を観察します。</p>	前期 中間 考査 範囲